

部品交換要領書

スチールドア用 掘込型レバーハンドル錠

HHW12-133
2014 年 12 月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

掘込型レバーハンドル錠	取付ねじ	交換要領書
HH-3K-11785  掘込型レバーハンドル錠：1 式 子カギ：3 本	 丸座取り付け用：2 本  シリンドラー取り付け用：2 本  錠ケース・フロント取り付け用：2 本  錠受取り付け用：2 本	 本書 1 枚

※部品が全てそろっていることを確認してください。

作業のために準備していただくもの

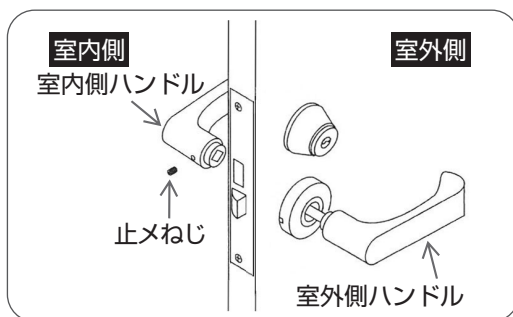
プラスドライバー	ペンチなど	ビニールテープなど
 + 1 本	 丸座をはさめる 程度の大きさ 1 本	

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 ハンドルの取りはずし



室内側よりプラスドライバーで室内側ハンドルの止メねじをはずし、室内側および室外側ハンドルをはずす。
※室内側ハンドルをはずすと室外側ハンドルがはずれます。落下にご注意ください。

2 丸座の取りはずし



①室内側のドア表面にキズがつかないようにビニールテープなどを貼って保護する。
②ペンチで丸座の外側と穴をはさんで外側からはがすように丸座カバーをはずす。
※丸座をペンチでしっかりはさんでから抜いてください。
※壁や人にぶつからないよう周囲の安全に注意して作業を行ってください。

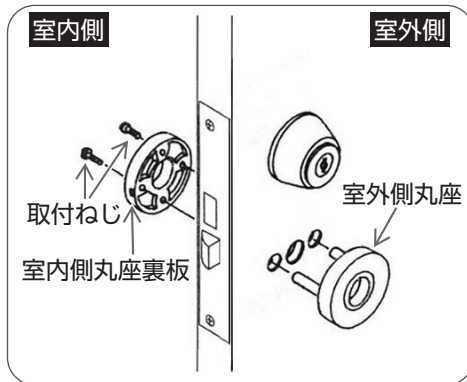
※部品の取り付け方は 3・4 ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

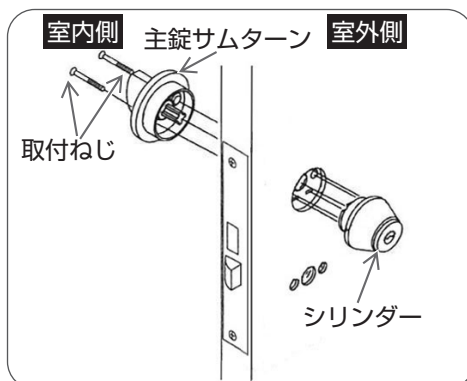
3 丸座裏板の取りはずし



室内側よりプラスドライバーで室内側丸座裏板の取付ねじをはずし、室内側丸座裏板および室外側丸座をはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側丸座がはずれます。落下にご注意ください。

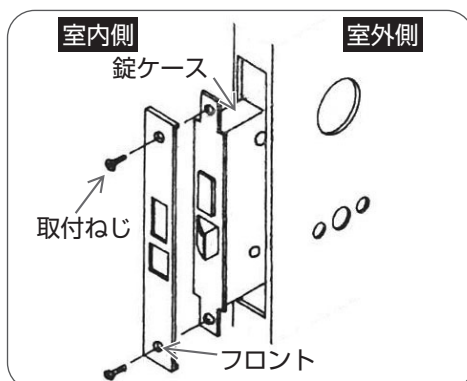
4 シリンダー・サムターンの取りはずし



室内側よりプラスドライバーでサムターンの取付ねじをはずし、サムターンおよびシリンダーをはずす。

※取付ねじをはずすと、シリンダーがはずれます。落下にご注意ください。

5 錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースおよびフロントをはずす。

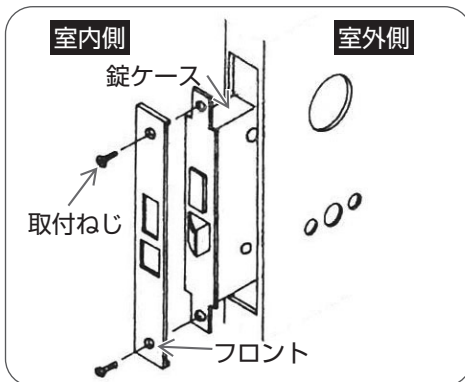
※部品の取り付け方は 3・4 ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

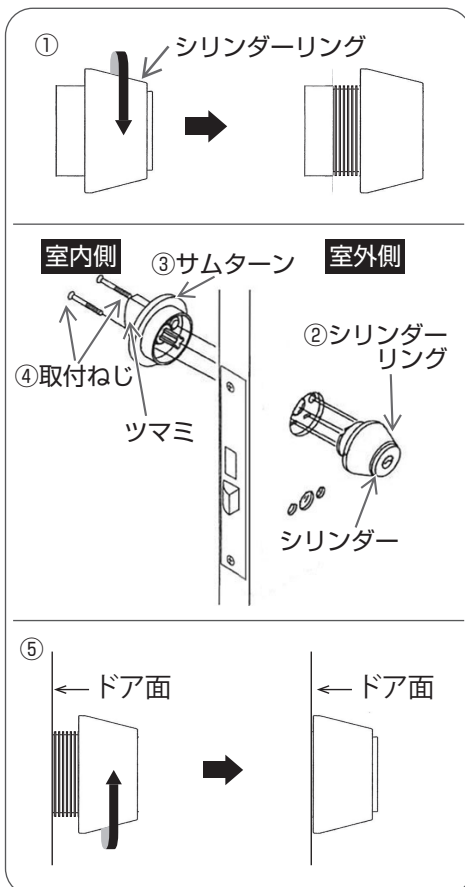
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 錠ケースの取り付け



錠ケースを取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

2 シリンダー・サムターンの取り付け

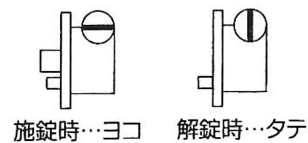


- ① シリンダーのシリンダーリングを反時計回りに止まるまで回しきる。
- ② 室外側よりシリンダーを錠ケースの取付穴に差し込む。
※シリンダーのM I W Aマークが上になるように取り付けてください。



- ③ サムターンを施錠状態とサムターンツマミの向きを合わせて差し込む。

サムターンツマミの正しい状態



- ④ プラスドライバーで取付ねじを仮止めし、サムターンツマミを数回作動させ、動きのよい所でしめる。
- ⑤ シリンダーリングを時計回りに回してしめる。

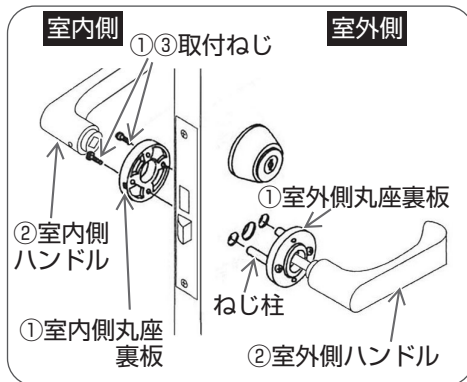
※部品の取りはずし方は 1・2 ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

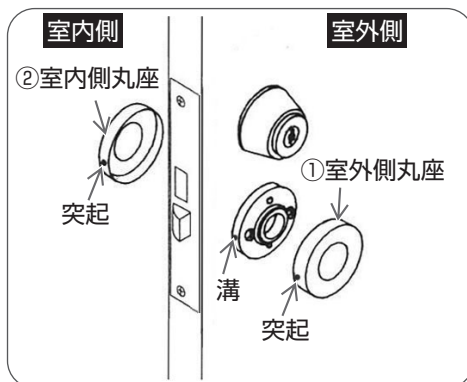
3 丸座裏板の取り付け



※丸座を取り付ける前に必ずハンドルの動きを確認してください。

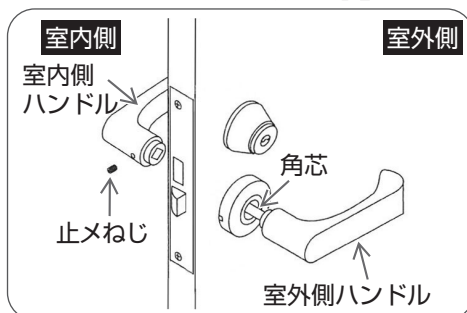
- ①室外側より室外側丸座裏板(ねじ柱付)を取付穴に差し込み、室内側より室内側丸座裏板を合わせ、プラスドライバーで取付ねじを仮止めする。
- ②室外側より室外側ハンドル(角芯付)を丸座裏板の穴に差し込み、室内側より室内側ハンドルを室外側ハンドルの角芯に合わせて差し込み仮付けする。
- ③ハンドルの動きの良い位置に丸座裏板を調整しプラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ④仮付けしたハンドルをはずす。

4 丸座の取り付け



- ①室外側丸座の突起を丸座裏板の溝に合わせ、はめ込む。
- ②室内側丸座の突起を丸座裏板の溝に合わせ、はめ込む。

5 ハンドルの取り付け



- ①室外側より室外側ハンドル(角芯付)を丸座の穴に差し込む。
- ②室内側より室内側ハンドルを室外側ハンドルの角芯に合わせて差し込みプラスドライバーで止メねじをしめる。

部品の交換後のチェック



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ハンドルを動かしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじのしめつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。